

## 8 高齢者に関する施策の推進状況

### (1) 高齢者の居住安定に係る施策との連携

#### ① 高齢者に対応した公営住宅の安定供給 (計画書 P63)

公営住宅は、年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もが安心して暮らせる住環境の提供を基本に、ユニバーサルデザインを推進し、バリアフリー化に配慮した整備をしています。平成29年度～令和元年度までは3棟28戸の公営住宅を新設し、うち高齢者向け住宅として14戸を整備しました。

【公営住宅のバリアフリー化と高齢者に対応した公営住宅の供給戸数】

		高齢者等向け			公営住宅数とバリアフリー住宅の戸数						
		H28年度	H30年度	R元年度	H28年度の住宅戸数		H30年度の住宅戸数		R1年度の住宅戸数		
					バリアフリー戸数	全戸数	バリアフリー戸数	全戸数	バリアフリー戸数	全戸数	
住宅数		24棟 86戸	26棟 96戸	27棟 100戸	224戸	723戸	244戸	726戸	248戸	726戸	
市 営	緑町団地	5棟 20戸	5棟 20戸	5棟 20戸	60戸	60戸	60戸	60戸	60戸	60戸	
	北の峰団地	8棟 18戸	8棟 18戸	8棟 18戸	40戸	40戸	40戸	40戸	40戸	40戸	
	朝日町団地	1棟 8戸	1棟 8戸	1棟 8戸	20戸	20戸	20戸	20戸	20戸	20戸	
	北麻町団地	4棟 16戸	5棟 20戸	6棟 24戸	32戸	166戸	40戸	162戸	44戸	162戸	
	西麻町団地		1棟 6戸	1棟 6戸			12戸	12戸	12戸	12戸	
	その他の団地					365戸		360戸		360戸	
	道 営	しらかば団地	6棟 24戸	6棟 24戸	6棟 24戸	72戸	72戸	72戸	72戸	72戸	72戸

【資料】富良野市都市建築課 (令和2年3月31日現在) 【関連する担当課】富良野市都市建築課

#### ② 住宅改修支援制度の充実 (計画書 P65)

要介護(要支援)認定を受けた方が手すりの取り付け等の住宅改修を行ったとき、介護保険制度による支給限度基準額までの改修に対して保険給付を行うほか、支給限度基準額を超える工事に対しては、市単独の助成制度(富良野市住宅改修費助成)を行なっています。バリアフリー化を伴う住宅リフォーム工事など、介護保険制度の対象外となる工事や費用の大きなものに対しては、住宅リフォーム等助成事業(富良野市住宅改修促進助成事業)で介護者の負担軽減を図っています。

### ③ まちなか居住の促進（計画書 P65）

平成 29 年度までにサービス付き高齢者向け住宅が 2 施設 54 戸整備され、このうち 1 施設 36 戸は「富良野市中心市街地活性化基本計画」（計画期間：平成 26 年 11 月～平成 32 年 3 月）に基づきまちなか居住人口の増進に資するハード事業及びソフト事業を官民連携して取り組んでおり、主要な事業については概ね事業着手に至っています。

「富良野市中心市街地活性化基本計画」（計画期間：平成 26 年 11 月～平成 32 年 3 月）は、第 5 次富良野市総合計画 後期基本計画（平成 28 年度～平成 32 年度）、富良野市都市計画マスタープラン（平成 23 年度～平成 42 年度）と連動して官民連携による『まちなか居住の推進』に取り組んでいます。

〔関連する施策等〕 富良野市中心市街地活性化基本計画、富良野市住生活基本計画

〔関連する担当課〕 富良野市中心街整備推進課、都市建築課

## (2) 高齢者に関する一般施策の推進状況

### ① 災害時要支援高齢者等の見守り体制の推進（計画書 P83）

災害時には、要支援高齢者等を安全な場所に避難させるなどの対応が必要となります。そのためには、地域の関係者と連携しながら、地域における「見守り」を確保し、支援を必要とする方に対して、早期に適切な支援をすることが必要です。

在宅酸素を使用している方や難病により支援が必要な方の情報管理が他機関（保健所）であるため、要請を行うことで情報提供がされるよう調整が進められています。また、福祉避難所の整備については、段ボールベッド、プライベートテント等購入するなどし、必要資器材の整備を進めています。

災害時の要支援者に対し、平時からの要支援者の個人情報提供について、出前講座や防災訓練、広報誌、市HP等で本人および家族へ同意書の提出を依頼しており、災害時における関係機関への個人情報の提供に関する意思確認、支援の内容について、富良野市地域防災計画に基づき要支援者等への支援を実施していきます。

〔関連する担当課〕 富良野市総務課、福祉課

〔関連する施策等〕 富良野市地域防災計画、富良野市地域福祉計画、富良野市障がい者計画

### ② 高齢者の医療と健康状態（計画書 P83）

高齢者は、生活習慣病等複数の疾患を保有するとともに、加齢に伴う虚弱な状態であるフレイルなどを要因とする老年症候群の症状が混在し、健康状態の個人差も大きいという特性があります。本市の高齢者の受診状況をみると、前期高齢者の 6 割、後期高齢者の 8 割は、高血圧・糖尿病などの生活習慣病で医療機関を受診しています。

高齢者に対しては、特定健診や後期高齢者健診の受診者のなかで、医療機関への受診勧奨や高血圧・糖尿病などの重症化予防が必要な対象者への保健指導を、保健師・管理栄養士が実施しています。

令和元年度は、北海道後期高齢者医療広域連合からの受託事業として、低栄養防止・重症化予防等事業や重複・頻回受診者訪問指導事業を実施しました。令和 2 年度は、高齢者の保健事業と

介護予防の一体的な実施に係る事業を受託し、国保の保健事業や介護予防事業とも連携して、健診の受診勧奨や低栄養や生活習慣病の重症化のリスクが高い高齢者に対する個別支援、通いの場等におけるフレイル予防のポピュレーションアプローチを行ないます。

【関連する担当課】 富良野市保健医療課

【関連する施策等】 富良野市健康増進計画

【前期高齢者の受療状況】

年齢区分		国保・後期加入者数	生活習慣病受療者数	基礎疾患		合併症				
				高血圧	糖尿病	脳血管疾患	虚血性心疾患	心不全	腎不全	透析
65～69歳	人数	1,068	647	528	369	69	80	150	67	8
	%		60.6%	49.4%	34.6%	6.5%	7.5%	14.0%	6.3%	0.7%
70～74歳	人数	1,309	894	753	517	117	115	218	94	11
	%		68.3%	57.5%	39.5%	8.9%	8.8%	16.7%	7.2%	0.8%
合計	人数	2,377	1,541	1,281	886	186	195	368	161	19
	%		64.8%	53.9%	37.3%	7.8%	8.2%	15.5%	6.8%	0.8%

資料：KDBシステム（国保・後期）からR2.3月末の加入者数と1年間の受療状況を算出

【後期高齢者の受療状況】

年齢区分		被保険者数	生活習慣病受療者数	基礎疾患		合併症				
				高血圧	糖尿病	脳血管疾患	虚血性心疾患	心不全	腎不全	透析
75～84歳	人数	2,488	2,011	1,812	1,201	411	404	748	251	9
	%		80.8%	72.8%	48.3%	16.5%	16.2%	30.1%	10.1%	0.4%
85歳以上	人数	1,389	1,131	1,023	590	352	308	563	177	4
	%		81.4%	73.7%	42.5%	25.3%	22.2%	40.5%	12.7%	0.3%
合計	人数	3,877	3,142	2,835	1,791	763	712	1,311	428	13
	%		81.0%	73.1%	46.2%	19.7%	18.4%	33.8%	11.0%	0.3%

資料：KDBシステム（後期）からR2.3月末の加入者数と1年間の受療状況を算出

【後期高齢者医療費の状況】

区 分		1人当たり医療費	受診率 (100人当たり件数)	1件当たり診療費	1日当たり診療費
富良野市	入 院	572,338円	103.91件	550,781円	27,284円
	入院外	208,353円	1,267.24件	16,442円	9,787円
	歯 科	27,415円	156.74件	17,491円	8,545円
	その他	227,093円			
	計	1,035,199円	1,527.89件	52,890円	17,770円
全 道	入 院	585,623円	102.79件	569,748円	30,025円
	入院外	265,776円	1,444.06件	18,405円	11,510円
	歯 科	33,292円	199.26件	16,708円	8,270円
	その他	217,550円			
	計	1,102,241円	1,746.11件	50,666円	18,976円

※その他は、調剤、食事・生活療養、訪問看護、補装具など

資料：R元年度北海道の後期高齢者医療

【健康教育・健康相談・訪問指導の実施状況】

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
健康教育参加延人数	686 人	537 人	190 人	406 人	413 人	448 人
（再掲）65 歳以上	349 人	359 人	105 人	282 人	253 人	277 人
健康相談実施延人数	1,975 人	2,268 人	1,850 人	1,715 人	1,661 人	2,095 人
（再掲）65 歳以上	1,164 人	1,131 人	982 人	1,021 人	1,030 人	1,243 人
訪問指導実施延人数	314 人	488 人	394 人	355 人	314 人	462 人
（再掲）65 歳以上	206 人	282 人	226 人	230 人	193 人	342 人

資料：保健医療課保健師活動分析

【特定健康診査の受診率】

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
対象者数	4,365 人	4,246 人	4,074 人	3,867 人	3,729 人	3,650 人
受診者数	2,166 人	2,174 人	2,119 人	1,959 人	1,857 人	1,834 人
受診率	49.6%	51.2%	52.0%	50.7%	49.8%	50.3%
40～64 歳受診率	43.3%	45.7%	45.3%	44.5%	44.8%	46.0%
65～74 歳受診率	51.5%	56.2%	57.8%	55.8%	53.9%	53.7%
受診率前年増減	1.9%	1.6%	0.8%	-1.3%	-0.9%	1.5%

資料：特定健診等データ管理システム法定報告実績（※令和元年度は見込）

【特定保健指導の実施状況】

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
対象者数	216 人	204 人	220 人	191 人	205 人	209 人
実施者数	119 人	140 人	133 人	117 人	125 人	※集計中
実施率	55.1%	68.6%	60.5%	61.3%	61.0%	※集計中
40～64 歳実施率	46.7%	59.0%	45.2%	48.5%	47.7%	※集計中
65～74 歳実施率	69.1%	82.9%	80.2%	75.0%	76.6%	※集計中
実施率前年増減	-3.3%	13.5%	-8.1%	0.8%	-0.3%	※集計中

資料：特定健診等データ管理システム法定報告（※令和元年度は見込）

【後期高齢者健康診査の受診状況】

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
対象者数	3,377 人	3,311 人	3,310 人	3,416 人	3,484 人	3,504 人
受診者数	184 人	233 人	247 人	286 人	302 人	336 人
受診率	5.45%	7.04%	7.46%	8.37%	8.67%	9.59%
受診率前年増減	-0.39%	1.59%	0.42%	0.91%	0.3%	0.92%

資料：令和元年度北海道の後期高齢者医療

【がん検診の受診状況】

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
胃がん	1,211 人	1,213 人	1,079 人	967 人	908 人	899 人
(再掲)65 歳以上	586 人	606 人	568 人	520 人	493 人	486 人
肺がん	1,378 人	1,475 人	1,386 人	1,300 人	1,242 人	1,295 人
(再掲)65 歳以上	761 人	849 人	839 人	814 人	782 人	814 人
大腸がん	1,517 人	1,693 人	1,421 人	1,344 人	1,386 人	1,384 人
(再掲)65 歳以上	754 人	850 人	663 人	827 人	837 人	842 人
子宮頸がん	672 人	550 人	539 人	550 人	526 人	464 人
(再掲)65 歳以上	130 人	135 人	131 人	125 人	126 人	116 人
乳がん	674 人	582 人	607 人	566 人	540 人	495 人
(再掲)65 歳以上	142 人	180 人	209 人	159 人	167 人	158 人
前立腺がん	423 人	459 人	426 人	387 人	396 人	406 人
(再掲)65 歳以上	313 人	335 人	337 人	242 人	249 人	263 人

資料：保健医療課がん検診統計

③ 高齢者見守り体制の充実（計画書 P85）

富良野市民生委員児童委員協議会では、ひとり暮らしや、日中ひとりとなる可能性のある高齢者の安心な生活を支援するため、民生委員が市内の 65 歳以上の世帯を訪問し、緊急連絡先を把握する活動を行っています。また、地域の「気になる人（支援を必要と考えられる人）」とその人への住民の関わりを住宅地図に落とし込み、支え合い活動の実施状況や支援の欠けている状況を把握し、地域の福祉課題の抽出に役立つ「住民支え合いマップ」に取り組んでいます。

#### ④ ごみを持ち出すことが困難な高齢者への支援（計画書 P85）

身体的にステーションまで持って行けず家のためごみ屋敷化する例など、ゴミの排出が困難な高齢者への支援が課題となっており、ステーション管理している町内会等からの相談や自己申告等に応じて個別対応を行っています。相談等の内容によっては環境課と高齢者福祉課、社会福祉協議会が連携をとり対応しています。H30 年度からは、生活支援コーディネーターによるステーションまでゴミの排出を支援するボランティアのマッチングを試行的に開始しています。

粗大ごみの屋外排出については、排出時のトラブル防止のため、許可業者による一括処分又は、シルバー人材センターに屋外排出を依頼することにしてあります。

#### ⑤ 外出と移動に関する支援（計画書 P86）

高齢者の移動支援は、高齢者福祉サービスによる「外出支援サービス」以外に、高齢者に限定しない移動支援があります。高齢者が必要な医療にかかることや外出の機会の確保は、身体状況の悪化予防、介護予防につながるため、交通の確保は重要であるため、下記の支援を継続しています。

布部石綿地区医療送迎車は、利用者の減少により令和元年度で事業が終了しています。

医療受診者通院交通費助成	市保健医療課では、麓郷、布礼別、富丘、東山、西達布、老節布、平沢地域に居住し市内の医療機関に通院する方（歯科受診、付添人を除く）の通院に要する交通費の軽減を図るよう、医療受診者通院交通費助成を行っています。 [関連する担当課] 富良野市保健医療課
東山地区コミュニティカー	東山地域では地域公共交通路線（老節布線）の廃止に伴い、病院通院者をはじめ高校通学者などの交通弱者に係る住民の交通（足）の確保を目的に、市が運営主体となり地域（東山地域連絡協議会）に運行业務を委託し平成 21 年 10 月より地域コミュニティカーの運行を開始し現在に至っています。 路線バス（西達布線）の東山停留所及び西達布停留所に接続する 2 経路及び区域内自由運航としています。 [関連する担当課] 富良野市東山支所
山部地区コミュニティカー	山部地域は山部厚生病院の閉鎖に伴い、デマンド式のタクシーにより公共交通路線までつなぎ市内医療機関への交通（足）の確保を行っています。 [関連する担当課] 富良野市山部支所
山部地区高齢者移動支援事業（乗り合いタクシー運行事業）	平成 30 年度から山部地区福祉推進会議と生活支援コーディネーターによるモデル事業として、いきいきサロン参加者の移動支援を目的に、山部地区高齢者移動支援事業（乗り合いタクシー運行事業）を開始しています。 [関連する担当課] 高齢者福祉課
島ノ下地区コミュニティカー	島の下地区は平成 29 年 3 月 4 日からの JR 島ノ下駅の廃止に伴い、島の下⇄図書館、島の下⇄富良野駅のコミュニティカーを同年 4 月から 1 日 5 便のデマンド式タクシーにより運行しています。運行当初の利用者は大人 1 名のみでしたが、令和元年度より小学生が登録し利用が始まっています。 [関連する担当課] 富良野市企画振興課

#### ⑥ 高齢者の交通安全対策（計画書 P86）

第 10 次富良野市交通安全計画に基づき①高齢者の交通安全講習会の開催、②交通推進員による高齢者の全戸訪問 ③交通安全啓発パークゴルフ大会の開催 ④高齢者運転対策事業として安全運転支援車体験試乗会やペダル踏み間違い時加速抑制装置取付補助金を整備しています。

[関連する担当課] 富良野市市民協働課

## ⑦ 社会参加・生きがい活動（計画書 P87～）

### ア ことぶき大学

本科4年、大学院2年、研究科1年並びに単年度登録制研究科の開設を行い、講話、クラブ学習、教科別学習など年間30日程度の学習を行っています、これまで富良野校・山部校・東山校の3校でしたが、平成31年に東山校が富良野校に統合され2校となっています。

【ことぶき大学の在籍者数】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
富良野校	52人	49人	33人	48人	41人
山部校	21人	21人	17人	20人	25人
東山校	8人	6人	5人	1人	※H31年 富良野校へ統合
合計	81人	76人	55人	69人	66人

[資料]富良野市社会教育課 \*在籍者数に は本科4年、大学院2年、研究科を含む。(平成30年度から単年度登録者含む)

### イ 公民館・文化会館を核とした社会参画の場

生涯各期の多様化する学習ニーズに応え、学習機会の提供により、市民の生涯学習活動の推進を図るため「富良野市民講座」として全市民向け開設しています。

### ウ 生涯スポーツ

スポーツ活動機会の充実を図るため、NPO法人ふらの体育協会と連携しスポーツ教室等の開催、学校開放事業を推進しました。さらにスポーツ施設の環境整備とスポーツ推進委員による軽スポーツの普及、指導者の育成と充実など効果的な取り組みを進めてきました。

### エ ふれあいセンター事業（計画書 P88）

ふれあいセンターの利用は年々増加し、また種事業の実施により高齢者の福祉向上、健康維持が図られ、ふれあいセンターが高齢者の憩いの場として市民に定着しています。

高齢者が増加している一方、老人クラブの加盟団体数の減少、加入数の減少が見られます。

【ふれあいセンター利用団体及び利用者数】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
老人クラブの加入状況	老人クラブ 団体数	33団体	32団体	31団体	31団体	29団体
	会員数	1,461人	1,435人	1,286人	1,247人	1,186人
高齢者元気づくり事業 交付団体	交付団体数	46団体	42団体	44団体	47団体	48団体
ふれあいセンター利用 者数（老人福祉施設）	延利用者数	12,195人	11,892人	11,952人	13,317人	12,686人
敬老会の実施団体	交付団体数	52団体	54団体	54団体	54団体	56団体
	対象者数	3,613人	3,638人	3,679人	3,746人	3,719人

【関連する担当課】 高齢者福祉課

### オ シルバー人材センター （計画書 P88）

高齢者の多様な就業ニーズに応じた臨時的・短期的な就業機会の確保や提供を行うシルバー人材センターの会員数は、平成 27 年度までは減少傾向でしたが、平成 29 年度以降は、減少前の水準になっています。しかし、会員の高齢化により就労者は減少傾向にあります。また会員数の男女比は、女性が少ない傾向が続いています。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
会員数	195 人	190 人	171 人	188 人	193 人	191 人	196 人	
平均年齢	73.1 歳	73.5 歳	73.5 歳	73.8 歳	74.2 歳	74.3 歳	73.8 歳	
受託	件数	1,269 人	1,237 件	1,277 件	1,253 件	1,272 件	1,061 件	1,081 件
	金額	10,025 万円	8,388 万円	8,043 万円	8,089 万円	9,025 万円	7,676 万円	8,048 万円
	延べ就労人員	16,675 人	14,070 人	13,748 人	13,007 人	14,603 人	12,455 人	12,484 人

### ⑧ 労働力不足への対応 （計画書 P89）

しごと情報提供サイト「フラノジョブスタイル」において、シニア世代を採用する企業情報と、実際に働いている方へのインタビュー記事を掲載しています。

また、広報ふらのと連携して特集記事を掲載し、働くシニア世代のライフスタイルを紹介しています。

【関連する担当課】 富良野市商工観光課

## 9 介護サービス提供基盤の整備状況

【介護サービス提供基盤の整備状況】(単位：事業所数)

	H29 実績	計画中 R2 見込	第7期整備計画 (H30~H32)	
			H30 実数	R1 実数
居宅介護支援事業所 (※1 施設休止中)	10	10	10	10
訪問系	訪問介護	10	10	10
	訪問看護	4	4	4
	訪問リハビリ	3	3	3
通所系	通所介護 (デイサービスセンター)	4	4	4
	通所リハビリテーション (デイケア施設)	2	2	2
短期入所系	短期入所生活介護	1	1	1
	短期入所療養介護	2	2	2
	短期特定施設入居者生活介護	1	1	1
	短期小規模多機能型居宅介護	2	3	2
特定施設入居者 生活介護	一般型	1	1	1
	外部サービス利用型	2	3	3
地域密着型	小規模多機能型居宅介護	2	2	2
	認知症対応型共同生活介護 (※1 施設休止中)	6	6	6
施設系	介護老人福祉施設	1	1	1
	介護老人保健施設	2	2	2
	介護医療院	0	1	0
	介護療養型医療施設	1	0	1
その他の施設	養護老人ホーム	1	1	1
	保健センター	1	1	1
	老人福祉センター	1	1	1
	地域包括支援センター	1	1	1
高齢者向け住ま い	有料老人ホーム	3	3	3
	サービス付き高齢者向け住宅	2	2	2

※休止中の施設は、実数に入っています

(再掲) 介護保険施設・居住系サービス・高齢者向け住宅

(単位：か所 (定員数))

	H29 実績	計画中 R2 見込	第7期整備計画 (H30~H32)	
			H30 実数	R1 実数
特別養護老人ホーム	1(120)	1(120)	1(120)	1(120)
介護老人保健施設	2(129)	2(129)	2(129)	2(129)
介護医療院	-	1(43)	-	-
介護療養型医療施設	1(23)	0(0)	1(23)	1(23)
認知症高齢者グループホーム	5(90)	※6(108)	6(108)	※6(108)
養護老人ホーム (外部サービス利用型)	1(100)	1(100)	1(100)	1(100)
サービス付き高 齢者向け住宅	(外部サービス利用型)	1(18)	1(18)	1(18)
	(一般型)	1(36)	1(36)	1(36)
	(特定施設指定なし)	-	-	-
住宅型有料老人 ホーム	(特定施設指定なし)	3(98)	2(47)	2(47)
	(外部サービス利用型)	-	1(27)	1(26)
合 計	15(614)	16(628)	16(607)	16(607)

※1(18) 休止中は、実数に入っています

その他の介護基盤整備計画

	H29 実績	計画中 R2 見込	第7期整備計画 (H30~H32)	
			H30 実数	R1 実数
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	1	0	0
小規模多機能型居宅介護	本体	2	3	2
	サテライト型	0	-	-
	介護予防拠点	0	3	0
合 計	2	7	2	2